

平成24年度事業報告について

公益社団法人市川市シルバー人材センター
理 事 長 田 上 充 元

平成24年度事業報告

1. 事業概要

日本の経済状況は、昨年末の政権交代以降に打ち出された各種経済対策の効果により、徐々に回復の兆しが見えはじめております。

しかしながら、過度な円高が進行すれば内需関連企業を中心にマイナスに働く恐れもあり、日々の生活の回復が感じられるまでには時間がかかるものと思われます。同様に、シルバー人材センター事業においても、空洞化の進行による国内の雇用情勢の不透明さがあり、就労状況が改善されるまでには、相当な期間が必要になると考えられます。企業の業績が回復に向かうことは、受注件数や会員の就業機会の増加にもつながることから、今後の経済動向に期待をいたしております。

平成24年度の事業実績は、昨年度に対して、年度末会員数は、1,422人で150人の減となりましたが、受注件数が5,500件で473件の増となり就業受託金額は714,377,376円で10,424,186円の増となりました。受託件数及び就業受託金額の増加は、一般家庭からの植木剪定や草取り、屋内外の軽作業やワンコインサービス事業の受注が増えたことによるもので、これは、家庭や民間事業所へのPR活動や訪問活動を積極的に行った成果であると思われます。

当シルバー人材センターは、公益社団法人として2年目を迎えます。今後も安定した事業を展開し、シルバー人材センター会員の活躍の場を更に広げていくために、会員と役職員が協働して知恵を出し合いながら、就業機会の確保・拡充に努めてまいります。

2. 事業実施状況

(1) 数値目標の達成については、つぎのとおりです。

- ① 会員数は、前年度に対して150人減、目標値に対して378人減の1,422人となりました。(達成率79.0%)
- ② 契約金額は、前年度に対して10,424,186円増、目標値に対して26,377,376円増の714,377,376円となりました。(達成率103.8%)
- ③ 就業率は、前年度に対して11.4ポイント増、目標値に対して19.1ポイント増の99.1%となりました。(達成率123.8%)

(2) 会員の増強・就業機会の確保・提供について

- ① 入会説明会を17回実施し、約560人の方が参加されました。これにより、シルバー人材センター事業の目的や趣旨に賛同した延306人の方が新規に入会しました。
- ② 発注者へは、可能な限り依頼を引き受けることを前提に、就業機会の確保に努めました。また会員へは、希望職種の見直しをお願いすることで未就業会員の解消を促しました。
- ③ 女性会員の入会促進については、「高齢者クラブの理事会」及び、男女共同参画センターにおける「女性のつどい」に参加させていただき、加入促進のPRをしました。
- ④ ワンコインサービス事業の普及については、市内5カ所においてケアマネジャーの地域会議等に参加し、事業の趣旨説明とPRをしました。また、ケアサービス関連事業所にチラシを配布し、PRに努めました。事業は、昨年5月から開始して昨年度実績で117件となり、現在は概ね1カ月当たり20件前後を受注しております。
- ⑤ 受注相談が多かった草刈り事業については、18名の会員が刈払機取扱作業者安全衛生教育を受講し、昨年度実績として契約件数65件、就業会員延356人、契約金額は2,475,550円となりました。
- ⑥ 福祉団体の関係者による地域ケア会議や自治会・民間団体などの会合へ積極的に参加し、チラシ・広報の配布やシルバー人材センター事業の説明などを行いました。また、寺院や民間企業・一般家庭へも約40件訪問し、受注確保や拡充を図りました。
- ⑦ 他市(区)シルバー人材センターを訪問し、新規事業の掘り起こし等のための視察を行いました。また、現在の状況についての意見交換もして、シルバー人材センター事業運営のための情報収集を行いました。

(3) 会員活動の充実について

- ① 駐輪場管理や公共施設管理に就業している会員を対象に研修を実施し、平成25年2月18日から3月28日までの間で、11日間13回で延428名が参加

しました。駐輪場管理就業会員には「接遇及び実務」、施設管理就業会員には「接遇力向上」、自転車管理職群班の班長には「リーダーとしての心構え」というテーマで研修を実施しました。

（４）普及啓発活動について

- ① 地域や公共団体が主催する祭りなどのイベントに積極的に参加し、チラシ等を配布するなどシルバー人材センターセンターの普及啓発に努めました。
- ② 地域の新聞社やケーブルテレビ局に働きかけ、シルバー人材センターセンターの会員活動を紹介するなど、PRにつなげました。
- ③ 広報紙を広く配布できる内容に一新して１回発行し、関係機関を通じ、また、普及啓発活動の際に配布しました。合わせて、会員向けの情報発信を補うために「事務局便り」を１回発行し、配布しました。

（５）安全・適正就業の推進について

- ① 安全委員会の活動として、平成２４年７月２６日に２事業所、平成２５年３月１８日に１事業所の就業現場へ安全巡視を行いました。いずれの就業現場についても、安全・適正に就業が行なわれていることを確認しました。
- ② 平成２４年１２月１１日に植木剪定の現場にて、連合会のグループ内安全・適正就業巡回指導を受け、総合的に安全・適正就業が守られていることが確認されました。
- ③ 千葉県シルバー人材センター連合会主催の安全適正就業推進員の研修会に安全委員会委員２名と職員の計３名で参加し、「シルバー世代の交通安全について」・「熱中症予防」・「植木剪定に伴う安全対策」などについての知識を習得しました。
- ④ 民間事業所に講師を依頼して「熱中症予防」についての安全講習会を実施し、植木・駐輪場の就業会員の合計４０名が参加しました。
- ⑤ 市交通計画課に講師を依頼して「自転車の交通事故防止について」の講習会を２回行い、駐輪場の就業会員４０名が参加しました。
- ⑥ 会員状況相談書を送付して、現在状況及び希望職種や時間の変更などを申告してもらうことにより、就業できる機会を増やせるよう、また、ミスマッチなく就業紹介ができるよう努めました。
- ⑦ 就業先と協議して契約内容と会員の就業状況について確認のうえ見直しを行い、法令に遵守した適正な就業を図りました。また、平成２５年度契約分の継続的契約について、全ての契約書に仕様書を添付することにより、契約の内容をより明確にしました。

（６）社会参加活動の推進について

- ① シルバー人材センター会員のボランティア団体「くすの木会」の活動として、江戸川クリーン作戦ゴミ拾い（５月）、市の１％支援事業の広報活動チラシ配布（７

月)、行徳まつり会場内清掃(10月)、還暦式受付(11月)を行いました。

- ② 「くすの木会」の主催による市の1%支援事業で、一般市民向けの「松の手入れ基礎講座」を開催しました。
- ③ 地域福祉サービスのネットワークに積極的に参加することで、ワンコインサービス事業の周知を図りました。

(7) 事業推進体制の強化について

- ① 法人の運営について、法令で求められている手続き等を適正に行いました。とくに、新年度からの継続契約全てに仕様書を添付するなど、法令を遵守する内容に改めるために発注者との打ち合わせを綿密に行ないました。
- ② 理事会は昨年度6回開催し、事業執行方針や規程・規則の改正など重要な案件を協議・検討するとともに、月2回の入会申込者の承認を行い、円滑な事業運営が行えるように努めました。総務委員会は4回開催し、事業全般にかかわる事柄について意見交換をしました。安全委員会は、安全巡視を含めて5回開催し、会員の安全・適正な就業についての意見交換を行いました。普及啓発委員会は3回開催し、会報紙の編集・発行やイベント会場での普及啓発活動など、シルバー人材センターの事業運営の活性化につながる意見交換をしました。
- ③ 職員については、全国シルバー人材センター事業協会や千葉県シルバー人材センター連合会等の研修会に参加して、日常業務の円滑な執行のための知識を習得しました。また、技能向上のための講習会へも参加しました。